AXIS P3268-LVE Dome Camera

赤外線とディープラーニングを備えた屋外用8メガピクセルドーム

AXIS P3268-LVEはLightfinder 2.0、Forensic WDR、OptimizedIRを搭載しており、あらゆる照明環境で優れた画質を提供します。深層学習処理ユニットを搭載している最新のAxisシステムオンチップ (SoC) を基盤としているため、エッジ上で深層学習に基づく高度な機能と強力な分析が可能です。AXIS Object Analyticsにより、人、車、車種の検知と分類を提供します。すべて特定のニーズに合わせてカスタマイズされます。音声およびI/O接続を備えているため、機器を統合してシステムの価値を高めることができます。さらに、この堅牢なIK10規格準拠の屋外対応カメラは、不正アクセスを防止してシステムを保護するサイバーセキュリティ機能を内蔵しています。

- 鮮やかな4Kの優れた画質
- Lightfinder 2.0、Forensic WDR、およびOptimizedIR
- ディープラーニングによる分析
- 音声とI/O接続
- 内蔵サイバーセキュリティ機能

JAPAN CYBERSECURITY LABEL
ジャパン・サイバーセキュリティ・ラベル
JC-STAR
Registered ID: 2025050200000244
Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

AXIS P3268-LVE Dome Camera

カメラ

イメージセンサー
1/1.8"プログレッシブスキャンRGB CMOS

レンズ
バリフォーカル、4.3〜8.6 mm、F1.5
水平画角: 100°–53°
垂直視野角: 54°〜30°
最短フォーカス距離:50 cm
IR補正、リモートズーム、リモートフォーカス、P-Irisコントロール

デイナイト
自動切換え赤外線カットフィルター

最低照度
Forensic WDRおよびLightfinder 2.0オン :
カラー: 0.14ルクス (50 IRE、F1.5)
白黒 : 0ルクス (50 IRE、F1.5)

シャッター速度
1/8500秒〜1/5秒

カメラ調整
パン±190°、チルト-10°〜+80°、回転±190°

システムオンチップ (SoC)

モデル
ARTPEC-8

メモリー
RAM 2,048 MB、フラッシュ8,192 MB

コンピューティング機能
深層学習処理ユニット (DLPU)

ビデオ

ビデオ圧縮
H.264 (MPEG-4 Part 10/AVC) Baseline Profile、Main Profile、High Profile
H.265 (MPEG-H Part 2/HEVC) メインプロファイル
Motion JPEG

解像度
3840x2160〜160x90

フレームレート
25/30フレーム/秒 (電源周波数50/60 Hz)

ビデオストリーミング
個別に設定可能なマルチストリーム (H.264/H.265/Motion JPEG)
Axis Zipstream technology (H.264/H.265)
フレームレートおよび帯域幅の制御
VBR/ABR/MBR H.264/H.265
低遅延モード
ビデオストリーミングインジケーター、

マルチビューストリーミング
最大2つのビューエリアをフルフレームレートで個別に設定可能

画像設定
彩度、コントラスト、輝度、シャープネス、Forensic WDR: シーンに応じて最大120 dB、ホワイトバランス、デイナイトモードしきい値、ローカルコントラスト、トーンマッピング、露出モード、露出エリア、デフォッギング、たる型歪曲の補正、圧縮、回転:0°、90°、180°、270°(コリドールフォーマット、ミラーリング、ダイナミックオーバーレイ (テキスト/画像)、プライバシーマスク、ポリゴンプライバシーマスクを含む)

パン/チルト/ズーム
デジタルPTZ、プリセットポジション

音声

音声ストリーミング
エッジツーエッジテクノロジーによる音声入力、単方向、双方向音声

音声エンコーディング
24bit LPCM、AAC-LC 8/16/32/44.1/48 kHz、G.711 PCM 8 kHz、G.726 ADPCM 8 kHz、Opus 8/16/48 kHz
ビットレート設定可

音声入力/出力
外部マイクロフォン入力、ライン入力、リングパワーによるデジタル入力、自動ゲインコントロール、ネットワークスピーカーペアリング

ネットワーク

ネットワークプロトコル
IPv4、IPv6 USGv6、ICMPv4/ICMPv6、HTTP、HTTPS[1]、HTTP/2、TLS[1]、QoS Layer 3 DiffServ、FTP、SFTP、CIFS/SMB、SMTP、mDNS (Bonjour)、UPnP®、SNMP v1/v2c/v3 (MIB-II)、DNS/DNSv6、DDNS、NTP、NTS、RTSP、RTCP、RTP、SRTP/RTSPS、TCP、UDP、IGMPv1/v2/v3、DHCPv4/v6、ARP、SSH、SIP、LLDP、CDP、MQTT v3.1.1、Secure syslog (RFC 3164/5424、UDP/TCP/TLS)、リンクローカルアドレス (設定不要)

システムインテグレーション

アプリケーションプログラミングインターフェース
VAPIX®、AXIS Camera Application Platformなど、ソフトウェア統合のためのオープンAPI (仕様については*axis.com*を参照)
ワンクリックによるクラウド接続
ONVIF® Profile G、ONVIF® Profile M、ONVIF® Profile S、ONVIF® Profile T (仕様については*onvif.org*を参照)
Voice over IP (VoIP) システム、ピアツーピア、またはSIP/PBXと統合するためのSession Initiation Protocol (SIP) のサポート。

ビデオ管理ソフトウェア
AXIS Camera Station Edge、AXIS Camera Station Pro、AXIS Camera Station 5、および*axis.com/vms*で入手可能なAxisパートナー製ビデオ管理ソフトウェアに対応。

画面上コントロール
デイナイトの切り替え
デフォグ機能
ワイドダイナミック レンジ
ビデオストリーミングインジケーター、
赤外線照明

イベント条件
分析機能、外部入力、状態監視外部入力、APIによる仮想入力
呼び出し:状態、状態変化
装置状態：動作温度範囲を上回ったとき、動作温度範囲外、動作温度範囲を下回ったとき、動作温度範囲内、IPアドレスの削除、新しいIPアドレス、ネットワーク接続断絶、システムの準備完了、リングパワー過電流保護、ライブストリーム有効、ケーシング開放
デジタル音声：デジタル信号にAxisメタデータが含まれている、デジタル信号のサンプリングレートが無効、デジタル信号がない、デジタル信号OK
エッジストレージ: 録画中、ストレージの中断、ストレージの健全性に関する問題を検出
I/O: デジタル入力、手動トリガー、仮想入力
MQTT: サブスクライブ
スケジュールおよび繰り返し: スケジュール
ビデオ：平均ビットレート低下、デイナイトモード、ライブストリームオープン、いたずら

イベントアクション
オーバーレイテキスト、外部出力の駆動、ズームプリセット、デイナイトモード、ステータスLEDの点滅、照明の使用、曇り除去モードの設定、WDRモードの設定
呼び出し：SIP呼び出しの終了、SIP呼び出し、呼び出しへの応答
I/O: I/Oを一度切り替え、ルールがアクティブな間にI/Oを切り替え
MQTT: 公開
通知：電子メール、HTTP、HTTPS、TCP、およびSNMPトラップ
録画またはアップロード目的でのプリ/ポストアラームビデオまたは画像のバッファリング
ビデオ録画:SDカード、ネットワーク共有
画像またはビデオクリップのアップロード:FTP、SFTP、HTTP、HTTPS、ネットワーク共有、電子メール

設置支援機能内蔵
リモートズーム、リモートフォーカス、画像の歪み補正、ピクセルカウンター、レベルグリッド

分析機能

アプリケーション
同梱
AXIS ObjectAnalytics、AXIS SceneMetadata、AXIS ImageHealth Analytics
AXIS Live Privacy Shield[2]、AXIS Video Motion Detection、いたずら警告、音声検知
サポート
AXIS Perimeter Defender、AXIS License Plate Verifier
AXIS Camera Application Platformに対応する、サードパーティー製アプリケーションをインストール可能、*axis.com/acap*を参照

1. この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。
2. ダウンロード可能

AXIS Object Analytics
物体クラス: 人間、車両（タイプ: 車、バス、トラック、バイク、その他）
シナリオ: ライン横断、エリア内の物体、エリア内の滞在時間、クロスラインカウント、エリア内の占有状態、エリア内の動き、ライン横断の動き
最大シナリオ数は10本まで
その他の機能:トリガーされた物体の色分けされた境界ボックス、多角形の対象/除外エリア、パースペクティブ設定、ONVIFモーションアラームイベント

AXIS Image Health Analytics
Detection settings (検知設定):
いたずら：ブロックされた画像、リダイレクトされた画像
画像劣化：ぼやけた画像、露出不足の画像
その他の特徴： 感度、検証期間

AXIS Scene Metadata
物体クラス:人、顔、車両 (種類：車、バス、トラック、バイク)、ナンバープレート
物体属性:車両の色、上/下の服の色、信頼度レベル、位置

認証

EMC
EN 50121-4、EN 55032 Class A、EN 55035、
EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-6-1、
EN 61000-6-2
オーストラリア/ニュージーランド:
RCM AS/NZS CISPR 32 Class A
カナダ : ICES-3(A)/NMB-3(A)
日本: VCCI Class A
韓国: KC KN32 Class A、KC KN35
米国 : FCC Part 15 Subpart B Class A
鉄道: IEC 62236-4

安全性
CAN/CSA-C22.2 No62368-1 ed. 3、
IEC/EN/UL 62368-1 ed.3、IEC/EN 62471、IS 13252

環境
IEC 60068-2-1、IEC 60068-2-2、IEC 60068-2-6、
IEC 60068-2-14、IEC 60068-2-27、IEC 60068-2-78、
IEC/EN 60529 IP66、IEC/EN 62262 IK10、NEMA 250 Type 4X、NEMA TS 2 (2.2.7-2.2.9)

ネットワーク
NIST SP500-267

サイバーセキュリティ
ETSI EN 303 645、BSI IT Security Label、FIPS-140

サイバーセキュリティ

エッジセキュリティ
ソフトウェア: 署名付きOS、総当たり攻撃による遅延からの保護、ダイジェスト認証、OAuth 2.0 RFC6749クライアント認証情報フロー/OpenID認定コードフローによるADFSアカウント一元管理、パスワード保護、Axis Cryptographic Module (FIPS 140-2 level 1)、AES-XTS-Plain64 256bit SDカード暗号化
ハードウェア: Axis Edge Vaultサイバーセキュリティプラットフォーム
セキュアエレメント (CC EAL 6+)、システムオンチップセキュリティ (TEE)、AxisデバイスID、セキュアキーストア、署名付きビデオ、セキュアブート、暗号化ファイルシステム (AES-XTS-Plain64 256bit)

ネットワークセキュリティ
IEEE 802.1X (EAP-TLS、PEAP-MSCHAPv2)[3]、
IEEE 802.1AE (MACsec PSK/EAP-TLS)、IEEE 802.1AR、
HTTPS/HSTS[3]、TLS v1.2/v1.3[3]、Network Time Security (NTS)、X.509証明書 PKI、ホストベースのファイアウォール

文書化
AXIS OSハードニングガイド
Axis脆弱性管理ポリシー
Axisセキュリティ開発モデル
AXIS OSソフトウェア部品表 (SBOM)
ドキュメントをダウンロードするには、*axis.com/support/cybersecurity/resources*にアクセスしてください。
Axisのサイバーセキュリティのサポートの詳細については、*axis.com/cybersecurity*にアクセスしてください。

概要

ケーシング
IP66、NEMA 4X、およびIK10の各規格に準拠
ハードコーティングされたポリカーボネートドーム
ポリカーボネートケーシングおよびウェザーシールド
カラー：白 NCS S 1002-B
再塗装の手順については、製品のサポートページを参照してください。保証への影響については、*axis.com/warranty-implication-when-repainting*にアクセスしてください。

取付
ジャンクションボックス (ダブルギャング、シングルギャング、4インチ8角) 用および壁面/天井用の穴付き取り付けブラケット

電源
Power over Ethernet (PoE) IEEE 802.3af/802.3at準拠
Type 1 Class 3
標準5.5 W、最大11.2 W

3. **この製品には、*OpenSSL Toolkit*で使用するために*OpenSSL Project (openssl.org)* によって開発されたソフトウェアと*Eric Young (eay@cryptsoft.com)* によって開発された暗号化ソフトウェアが含まれています。**

コネクター
ネットワーク: RJ45 10BASE-T/100BASE-T PoE
I/O:監視デジタル入力用×1とデジタル出力用×1の4ピン2.5 mmターミナルブロック (12V DC出力、最大負荷25mA)
音声:3.5 mmマイク/ライン入力

IRイルミネーター
電力効率が高く長寿命の850 nm赤外線LEDを搭載した、OptimizedIR
照射距離40 m以上 (撮影シーンによる)

ストレージ
microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応
SDカード暗号化に対応 (AES-XTS-Plain64 256bit)
NAS (Network Attached Storage) への録画
推奨されるSDカードとNASについては、*axis.com*を参照

動作温度
温度:-40° C～50° C (-40 ° F～122 ° F)
NEMA TS 2 (2.2.7) による最高温度:74℃ (165 ° F)
起動温度:-30° C～50° C (-22 ° F～122 ° F)
湿度:10～100% RH (結露可)

保管条件
温度:-40℃～65℃ (-40 ° F～149 ° F)
湿度:5～95% RH(結露不可)

寸法
ウェザーシールド含まず :
高さ:107 mm
直径149 mm

重量
ウェザーシールド装着時 :
900 g

パッケージ内容
カメラ、インストールガイド、Windows®デコーダ1ユーザーライセンス、ドリルテンプレート、RESISTORX® T20ネジビット、ターミナルブロックコネクター、ケーブルガスケット、コネクターガード、ウェザーシールド

オプションアクセサリー
AXIS TP3201-E Recessed Mount、AXIS TP3103-E Pendant Kit、AXIS T8355 Digital Microphone 3.5 mm、AXIS TP3824-E Dome Clear/Smoked、AXIS TP3821-E Casing Black/White、AXIS Surveillance Card
その他のアクセサリーについては、*axis.com*を参照

言語
英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語、ポルトガル語、ポーランド語、中国語 (繁体字)、オランダ語、チェコ語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、タイ語、ベトナム語

保証
5年保証、*axis.com/warranty*を参照

サステナビリティ

物質管理
PVC不使用、BFR/CFR不使用 (JEDEC/ECA標準JS709に準拠)
RoHS (EU RoHS指令2011/65/EUおよびEN 63000:2018)に準拠
REACH (EC) No 1907/2006に準拠。SCIP UUIDについては、*echa.europa.eu*を参照

材料
再生可能な炭素系プラスチックの含有率:6.4% (再生プラスチック)
OECDガイドラインに従って紛争鉱物について検査済み
Axisの持続可能性の詳細については、*axis.com/about-axis/sustainability*にアクセスしてください。

環境責任
axis.com/environmental-responsibility
Axis CommunicationsはUN Global Compactの署名企業です (詳細については*unglobalcompact.org*を参照)

© 2022 – 2025 Axis Communications AB. AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ARTPEC、VAPIXは、スウェーデンおよびその他の国で登録されたAxis ABの登録商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。記載内容は予告なく変更されることがあります。